

第4回南部アフリカフォーラム・ フォローアップセミナー

報告書

2016年1月

一般社団法人 アフリカ開発協会
102-0094 千代田区紀尾井町4番1号
新紀尾井町ビル3階
Tel. 03-3511-8911 Fax. 03-3511-8922

第4回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナー

本邦企業向け貿易・投資案件及びODA案件候補の紹介

- 日 時： 平成27年11月18日（水曜日）午後1時30分
- 会 場： 参議院議員会館 1階 講堂
- 共 催： 一般社団法人アフリカ開発協会・SADC加盟諸国・毎日新聞社
- 後 援： 外務省・経済産業省・国土交通省・農林水産省・JICA・JBIC
JETRO・UNIDO・アフリカ開発銀行アジア代表事務所・
アフリカ協会

セミナー・プログラム

- 13 : 30 主催者挨拶 一般社団法人アフリカ開発協会 会長 矢野哲朗
- 13 : 35 SADC 加盟国駐日大使代表
駐日ボツワナ共和国
ジェーコブ・ディッキー・ンカテ大使閣下
- 13:40 スピーカー 駐日モザンビーク共和国大使館
イルダ・トリゴ・ライヴォーゾ臨時代理大使
- 14:10 質疑応答
- 14:20 スピーカー 駐日レソト王国大使館
リチャド・ラモエレツィ大使閣下
- 14:50 質疑応答
- 15:00 休憩
- 15:10 スピーカー 駐日南アフリカ共和国大使館
モハウ・ペコ大使閣下
- 15:40 質疑応答
- 15:50 スピーカー 駐日ボツワナ共和国大使館
ジェーコブ・ディッキー・ンカテ大使閣下
- 16:20 質疑応答
- 16:30 コメント アフリカ開発銀行アジア代表事務所 横山 正所長
- 16 : 40 総括コメント 毎日新聞グループホールディングス 常田照雄専務・事業総括
- 16 : 45 閉会挨拶 一般社団法人アフリカ開発協会 副会長
参議院議員 元経済産業副大臣 増子輝彦議員

司会：一般社団法人アフリカ開発協会 副会長 池田甫
使用言語：英語（一部日本語を逐次通訳）

アフリカ開発協会会長 矢野 開会挨拶から

- ・毎日新聞社主催第8回南アフリカ・フォーラムが2016年2月開催の予定。その前に4回にわたるセミナーに400人の出席者を得たことを感謝すると思に、アフリカへの関心の高まりを感じる。
- ・2016年にはTICAD VIも開催予定。当協会では過去にサイドセミナーを開催し、基調講演をキクエテ大統領、ゲプーザ大統領ら国のトップにお願いしてきた。今回もその予定。
- ・また、もう一つサイドセミナーを開催して、若い人々の意見交換の場を作りたい。

SADC 貿易、投資、観光委員会委員長 シンカテ駐日ボツワナ大使 挨拶から

- ・SADCへの皆様の関心とセミナーへの参加に関して感謝
- ・このセミナーシリーズは成功といえる。今までプレゼンをした大使館の多くが、セミナーの後実際に企業から複数コンタクトされて、実際にプロジェクトが進みそうである。
- ・SADCは平和でインフラも整っているので、自信をもって投資先として考えていただきたい。

モザンビーク ライヴォーズ臨時代理大使 プレゼンテーションから

- ・地理的にSADC国への窓口となっていて、自然資源も豊富にある。アフリカ諸国の中で海外直接投資の点から2013年には第2位、2014年には第3位の評価を得ている。海外から投資しようと考えている企業と国内企業の間には差別的な条件はない。また経済成長が早い国としても知られている(7.7%)。投資にはうってつけである。国としては、複数の産業にまたがった投資を優先したい。
- ・プロモーションしたい分野は農業からインフラ、繊維、天然ガス、観光まで幅広い。中でもナカラなどの経済特区についてはポテンシャルが高い。
- ・日本企業からは石炭採鉱、技術協力、インフラ整備、天然ガス発電の分野などで、もっと積極的な関与を期待する。
- ・リサイクルの企業から基礎教育に関する質問があったことに対し、独立後読み書き(ポルトガル語)ができたのは25%くらいであったが、現在は60%まで増えていること。また現地語も学校で教えているとの回答。若者への教育には政府も力を入れているが、特に女子への教育に重点をおいている。

レソト リチャド・ラモエレツィ大使 プレゼンテーションから

- ・南部アフリカ関税同盟に加盟していることから、レソトは南部アフリカ全体の市場へのアクセスがあり、また欧州へのアクセスがある。
- ・水が豊富で、古来果物や野菜の生産がさかん。すでに果物、野菜の缶詰は欧州市場へ輸出されている。
- ・レソトハイランド・ウォータープロジェクトは第2フェーズに入っており、南アフリカへ

の水の供給のためのプロジェクトが進んでいる。同時に水を利用しての発電が進んでいるが、まだ投資の余地はあるし、水力以外の発電についても投資機会があると言える。

- ・漁業面では、ますの収穫高が高く日本での需要に見合うと考えられる。

南アフリカ ペコ大使 プレゼンテーションから

- ・南アフリカに進出すれば、SADC14カ国へのダイレクトなアクセスが可能。
- ・近年南アフリカでは、水のビジネスに力を入れており、漁業、養殖、海底にある鉱物やガスなどの開発に力を入れている。ここに日本企業の投資が求められる。
- ・特に、水産養殖については、歴史が浅く生産規模も小さい。日本と協働できる場所は多い。水産養殖開発区をもうけており、ここであれば開発はもとより投資もしやすくなっている。開発区はアマチクル、コエガ、イーストロンドン、アルゴアなどいくつかあるが、大規模なのはサルダナ湾。

ボツワナ ンカテ大使 プレゼンテーションから

- ・SADCの2億5千万人の消費者に届く拠点と考えてほしい。その上、欧州や米国などさらに大きな市場へのアクセスがある。
- ・ポイントとなる産業は、ダイヤモンド、再生エネルギー、石炭採鉱、農業など。

アフリカ開発銀行アジア代表事務所 横山正所長 コメント

- ・アフリカ大陸54カ国のうち日本は26カ国へ出資している世界3位の出資国。
- ・昔は世界銀行がインフラを中心に融資、現在はアフリカ開発銀行が技術面とインフラへの融資をしている。
- ・人口増加がビジネスチャンスととらえると、アフリカでは2020年には13億人、2050年には23億人と見込まれており、中国の13億人やインドの17億人より多くなり、それだけチャンスも広がることになる。
- ・アフリカは天然資源に恵まれていることから、ビジネス環境整備が大事となる。産業化を図り付加価値を高めようとしている。これに対して日本も努力が必要である。リスクを把握しアフリカの今を知り、機会・チャンスを逃さないことが必要とされる。アフリカの国々のインフラ投資環境、教育、ポリシー アドバイス、開発セクター、またプライベートセクター、人権育成に関して、銀行としては日本企業に良いインフラプロジェクトを作ることをお願いしたい。そうすれば、プロジェクト自体にもご協力ができるし、代表事務所として後方面でもサポートをすることが可能。
- ・TICAD6に向けてもサポートをする。
- ・アフリカは日本の直接投資に期待している。
- ・このセミナーがアフリカへのビジネスのきっかけになってほしい。

毎日新聞グループホールディングス 常田専務取締役 コメントから

- ・ 4 回にわたるフォローアップセミナー開催に感謝。12 カ国の大使にインパクトのある話を伺った。
- ・ 各国大使と親しくなればなるほど、日本のきめ細やかなサポートを益々期待される。もっと日本がサポートをしていく上で、SADC の協力が必要であるし、協力していってくれらると考える。
- ・ 中国の支援には即効性があるが、人は育つか、技術は、産業は発展するか？日本の支援は中・長期的ですぐに結果が見えないかもしれないが、それがもたらす効果は大きい。
- ・ 4 回のセミナーを終えて、横山氏がおっしゃったとおり、日本企業もアクションを起こす時。是非大使館を訪ねて自ら事業を生み出してほしい。
- ・ 2016 年には TICAD がある。それに先立ち 2 月 19 日には毎日 SADC フォーラムを開催する。

アフリカ開発協会副会長 増子輝彦議員 閉会挨拶にかえて

- ・ 公務のためかなわず、お詫びのご挨拶を矢野から。

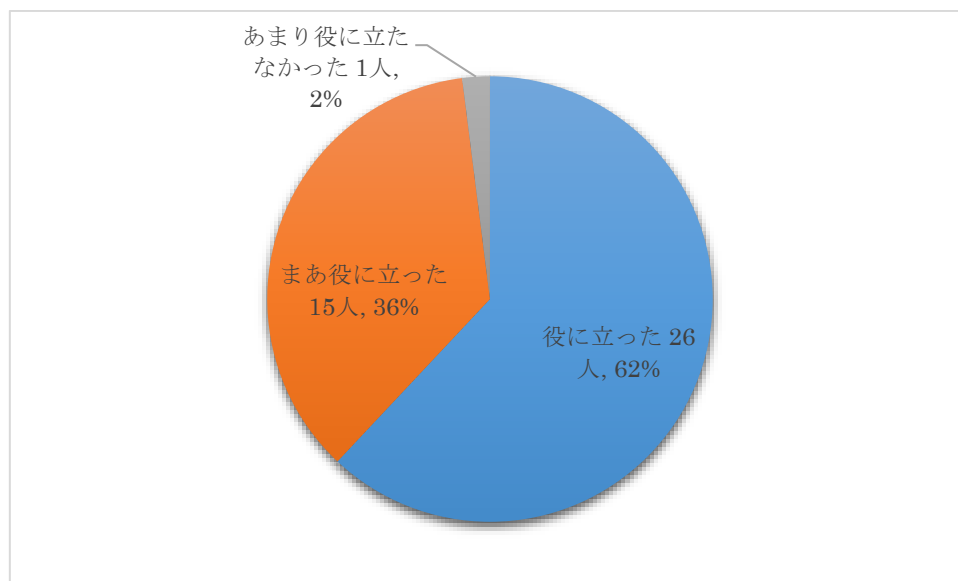
経費一覧

配布物などのコピー代		1,920 円
当日プログラム	150 部 X3 円	
スピーカーバイオ	150 部 X3 円	
アンケート	150 部 X3 円	
報告書	15 部 X (1X17 円+7X3 円)	
スピーカー用飲料		1,472 円
アルバイト代 (会場設置、受付手伝い)		31,500 円
交通費		2,920 円
<hr/>		
合計		37,812 円

アンケート結果概要

アンケート実施日： 2015年11月18日 セミナー直後
セミナー参加者数： 参加者 59人、オブザーバー 5人
他 プレゼン大使関係者、主催者スタッフなど
アンケート対象者： 64人
アンケート回答者： 42人 (回答率約66%)

◎セミナーが役に立ったかどうか。



◎セミナーに対する要望

	要望内容
役に立った	<ul style="list-style-type: none">- 今後のパートナーシップを考えるうえで役立った。- 南部アフリカの最新情報を知ることができた。- なじみのない国の事情、投資機会、情報を得た。- 南アの漁業分野に関する知識が広がった。興味深かった。- 各国がどんな投資を期待しているか理解できた。- 配布、プレゼン資料の一部が見にくかった。
まあ役に立った	<ul style="list-style-type: none">- なじみのない国の事情、投資機会、情報を得た。- SADC 進展の詳細情報が欲しい。- 在アフリカ日本企業の体験談が聞きたい。- プレゼン資料のほかに、基礎データ、投資関連資料を配布して

	ほしい。 -大使館の人員と知り合いになれた。 -時間制限により十分な説明がなかったと感じる。
あまり役に立たなかった	-具体的な内容にかけている。

◎リピート率と事前登録の有無

第1回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナーの参加者は58人、

第2回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナーの参加者は85人、

第3回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナーの参加者は66人、

第4回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナーの参加者は64人。

4回とも出席したのは3人。

第4回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナーで事前通知なく当日欠席したのは13人。